

令和2年12月

各位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和2年12月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、是川遺跡発掘100周年を記念して、企画展「是川遺跡の注口土器」を令和2年12月12日から令和3年3月21日まで開催します。

注口土器は主に縄文時代後・晩期に作られた注ぎ口のついた器で、是川中居遺跡からは、光沢が出るほど器の表面を磨き上げられたものや、鮮やかな赤色の漆が塗られた美術工芸品のようなものが見つかっています。

本展覧会では、400点以上ある注口土器の中から、特に形や模様のデザインがきれいなものを紹介します。

◆企画展の詳細はこちらをご覧ください（是川縄文館ホームページ）

<https://www.korekawa-jomon.jp/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸12月号 レポート

令和2年11月の八戸市内での出来事や
八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸都市圏交流プラザ「8base (エイトベース)」開業2カ月で来店者10万人突破
(2)	青森県が消費拡大キャンペーン「青森のお酒買って応援」
(3)	土偶でコロナ対策呼び掛け 新しい生活様式をアピールするポップ作成
(4)	2021年版「青森県民手帳」販売 過去最多の3万部発行

【産業】

記事	概要
(5)	東北新幹線全線開業10周年記念「デジタルスタンプラリー」実施
(6)	八食センター開業40周年 県内最大の観光関連施設に成長
(7)	坂本勇人内野手2000安打記念 八戸産まっしぐら「勝米」3缶セット販売
(8)	ディメール(八戸)「深浦サーモン棒寿司」が農林水産大臣賞受賞
(9)	八戸港にRORO船(貨物専用フェリー)の新定期航路開設

【地域】

記事	概要
(10)	全国万葉短歌大会ジュニアの部 谷地村さん(八戸高3年)準大賞
(11)	「現代の名工」縫製業の木村由記子さん(八戸)選ばれる
(12)	八食にストリートピアノ「八食夢ピアノ」お目見え ロータリークラブが寄贈
(13)	八戸市立旭ヶ丘小「アンガーマネジメント」を導入
(14)	館鼻岸壁朝市「PR大使・公認アイドル」に愛さん、pacchi(パッチ)初公認
(15)	八戸学院図書館職員と学生が絵本共同制作 ～「ありがとう」で心温かく～
(16)	～冬の夜空に贈り物～ 蕪島周辺で「光柱現象」観測

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	巨人坂本勇人内野手 2000安打の偉業達成
(18)	「八戸工場大学」本年度で終了 活動8年目 一区切り

【行政】

記事	概要
(1)	<p>八戸都市圏交流プラザ「8base (エイトベース) 」 開業2カ月で来店者10万人突破</p> <p>八戸都市圏交流プラザ「8base (エイトベース) 」の来店者が11月15日、オープンから約2カ月で10万人を突破し、節目の来店者となった親子連れに記念品が贈られた。エイトベースは9月10日、JR有楽町駅と新橋駅間の高架下に整備された商業エリア「日比谷OKUROJI」に開業。圏域アンテナショップとしての機能に加え、地元の山海の幸を楽しめる飲食スペースを併設している。八戸市の担当者は、当初の見込み以上に物販の売れ行きが好調といい、「コロナ禍の中でも順調な滑り出し」と手応えを示す。</p>
(2)	<p>青森県が消費拡大キャンペーン「青森のお酒買って応援」</p> <p>青森県は、新型コロナウイルスの影響で需要が落ち込む県産酒の消費拡大を後押しする企画「青森のお酒を買って応援キャンペーン」を11月20日から来年1月17日まで実施している。対象店舗で500円（税込み）以上の県産酒を購入すると、抽選で500人にお酒と相性が高い県産食材やオリジナルグッズが当たる。対象店舗は11月18日時点で約400店。1万円相当の県産和牛や県産魚などを贈る予定で、来年2月下旬に発送を開始する。</p>
(3)	<p>土偶でコロナ対策呼び掛け 新しい生活様式をアピールするポップ作成</p> <p>青森県世界文化遺産登録推進室は、2021年の登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、県民に関心を持ってもらうため、県内の遺跡から出土した縄文土偶が新型コロナウイルス禍での「新しい生活様式」をアピールするポップを作成した。登場する土偶は国宝の合掌土偶、板状土偶、遮光器土偶の3種類。合掌土偶が手の消毒を促したり、手を広げたような形の板状土偶が「あいだをあけよう」と社会的距離（ソーシャルディスタンス）を呼び掛けたり、それぞれの土偶の特長を生かしたデザインになっている。ポップは県のホームページで公開しており、無料でダウンロードして使用することができる。</p>
(4)	<p>2021年版「青森県民手帳」販売 過去最多の3万部発行</p> <p>青森県統計協会が2021年版の「青森県民手帳」を発行した。カバーは全7種で、昨年好評だった限定版の「津軽こぎん刺し」「南部菱刺し」は模様を一新して発行部数を倍増したほか、通常版は新たに「あんずオレンジ」が登場し、彩り豊かなラインアップとなった。今回は過去最多の3万部発行し、うち限定版は各2千部を用意した。県内のコンビニや書店などで販売し、限定版は県内の書店と県外のアンテナショップのみで取り扱う。価格はいずれも税込みで限定版800円、通常版600円。</p>

【産業】

記事	概要
(5)	<p>東北新幹線全線開業10周年記念「デジタルスタンプラリー」実施</p> <p>JR東日本などが、東北新幹線全線開業10周年を記念し、人気ゲーム「桃太郎電鉄（桃鉄）」最新作とコラボレーションしたデジタルスタンプラリーを11月20日から実施している。参加者は事前登録したスマートフォンを使い、各駅に設置されたパネルの2次元バーコードを読み込むと、桃鉄に登場するキャラクターのスタンプを獲得できる。コラボするのは、ゲーム機「ニンテンドースイッチ」のソフトで11月19日発売の「桃太郎電鉄～昭和 平成 令和も定番！～」。デジタルスタンプラリーの実施期間は来年2月末までで青森、岩手両県の8駅を含む東北6県24駅が対象となる。12月4～13日には八戸、七戸十和田、新青森の各駅に全線開業10周年を記念した特別スタンプも出現する。</p>

(6)	<p>八食センター開業40周年 県内最大の観光関連施設に成長</p> <p>八戸市河原木の八食センターが、11月に開業40周年の節目を迎えた。八食は1980年11月にオープン。同市の陸奥湊地区を拠点にしていた事業者の有志が郊外に新天地を求めたのが始まりで、当時、辺り一帯は水田地帯だったが、八食の発展とともにホームセンターや書店などの商業集積も進んだ。2002年12月の東北新幹線八戸開業が大きな転換点となり、飲食棟「厨スタジアム」などを新たに整備して施設の規模を拡大。全国からの観光客を含め、年間約270万人が来場する青森県内最大の観光関連施設に成長した。11月13～29日まで、40周年記念の大創業祭として、買い物券が当たる大抽選会などが実施された。</p>
(7)	<p>坂本勇人内野手2000安打記念 八戸産まっしぐら「勝米」3缶セット販売</p> <p>プロ野球巨人の坂本勇人内野手（光星高出）の通算2千安打達成を記念して、IT企業「ライブリッツ」（東京）は、坂本選手が高校時代に過ごした八戸産のコメ「まっしぐら」を缶に入れた「HAYATO2000『勝米（かちまい）』記念3缶セット」を販売している。パッケージには坂本選手の写真がデザインされ、1缶270グラム入り3缶セットで価格は2181円（税込み）。ライブリッツストアがジャイアンツオンラインストアのホームページで購入できる。</p>
(8)	<p>ディメール（八戸）「深浦サーモン棒寿司」が農林水産大臣賞受賞</p> <p>八戸市の水産加工会社「ディメール」の商品「深浦サーモン棒寿司」が、第31回全国水産加工品総合品質審査会で、最高位の農林水産大臣賞に選ばれた。深浦町の養殖サーモンと下北地域の低アミロース米「ゆきのはな」を活用しており、ディメールによると、主力のサバ以外の魚種に挑んだ意欲作で、主に冷凍状態でインターネット販売。解凍しても「もっちりした」食感が落ちないコメを選び、試作を重ね商品化につなげた。価格は1100円（250グラム、税込み）。</p>
(9)	<p>八戸港にRORO船（貨物専用フェリー）の新定期航路開設</p> <p>RORO船（貨物専用フェリー）を運航する栗林商船（東京）とオーシャントランス（同）が八戸港に新たな定期航路を開設し、12月1日から北海道苫小牧―東京の南下便の寄港が始まった。八戸港には週1回寄港し、苫小牧港で積んだ紙製品を下ろすほか、三菱製紙八戸工場で製造した紙製品を東京方面へ輸送。新たなRORO船の航路開設により、八戸港の物流拠点性が高まる事が期待される。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p>全国万葉短歌大会ジュニアの部 谷地村さん（八戸高3年）準大賞</p> <p>第40回全国万葉短歌大会（北日本新聞社主催）ジュニアの部（18歳以下）で、青森県立八戸高3年の谷地村昂さんが準大賞に輝いた。今回ジュニアの部には全国の666人から1094首の応募があり、大賞と準大賞各1首、優秀賞10首、奨励賞20首が選ばれた。谷地村さんの作品は「く傷つける役目を君に押しつけて海鳴を聴く螺旋階段」。自分の中のモヤモヤとした嫌な感情を歌に込めたという。昨年末から今年の春にかけて参加した多くの大会などで落選が続いていた分、喜びも大きいといい、「審査員に思いが伝わって良かった」と谷地村さんは喜びを語った。</p>

<p>(1 1)</p>	<p>「現代の名工」縫製業の木村由記子さん（八戸）選ばれる</p> <p>厚生労働省が発表した2020年度の「現代の名工」に、青森県から、八戸市の婦人・子供服注文仕立職木村由記子さん(75)、青森市の和生菓子製造工畑中和紀さん(69)の2人が選出された。現代の名工の表彰制度は、技術者の地位向上を図り、将来を担う優秀な技能者を確保、育成するのが目的で、産業の発展への貢献などを条件に、都道府県や業界団体の推薦があった人の中から、近年は毎年約150人を選んでいる。木村さんは、縫製業に長年携わり、着物のリメイクやオーダーメイドなどを手掛け、数々のコンテストで入賞を果たし、現在は縫製教室「モード・由記」の代表として後進の育成にも当たる。これまで県卓越技能者、市文化奨励賞など数々の賞に輝き、今回新たな称号を手にした。</p>
<p>(1 2)</p>	<p>八食にストリートピアノ「八食夢ピアノ」お目見え ロータリークラブが寄贈</p> <p>創業40周年を迎えた八食センターの厨スタジオ1階に11月15日、誰でも自由に演奏できるストリートピアノ「八食夢ピアノ」がお目見えした。来店客の触れ合いや交流を生み出してもらおうと八戸ロータリークラブが提案し、八戸北、八戸西両ロータリークラブの賛同を得て寄贈が実現した。寄贈式の後、市立西白山台小2年の和田煌平君が「白い貝がら」を、市立白山台小4年の河原木海宇さんがテレビアニメ「鬼滅の刃」の主題歌「紅蓮華」をそれぞれ演奏し、八食夢ピアノの設置に花を添えた。</p>
<p>(1 3)</p>	<p>八戸市立旭ヶ丘小「アンガーマネジメント」を導入</p> <p>怒りの感情をうまくコントロールするための心理トレーニングとして注目を集める「アンガーマネジメント」。八戸市立旭ヶ丘小（島浦靖校長）では、思春期の入り口に立つ高学年を対象に、授業の年間計画に導入している。島浦校長は、子ども同士が感情表現がうまくできないことが原因でトラブルに発展するケースを多く見た経験から、アンガーマネジメントの重要性を感じており、校長として赴任した同校で本年度に導入した。全国的にも珍しい取り組みで、島浦校長は「人間関係を良好にするコツを知ること、子ども同士のトラブルを未然に防ぐことができる」と意義を強調する。</p>
<p>(1 4)</p>	<p>館鼻岸壁朝市「PR大使・公認アイドル」に愛さん、pacchi（パッチ）初公認</p> <p>「日本一朝早く会えるアイドル」として注目度が高まっている、八戸市のモデル事務所「トゥインクル」所属の愛さんと、アイドル研修生の6人グループ「pacchi（パッチ）」が、館鼻岸壁朝市を主催する湊日曜朝市会から「PR大使」と「公認アイドル」に任命された。愛さんとpacchiは昨春ごろから、朝市会場で継続的にライブ活動を行っており、会場の盛り上げに一役買っている。加えて、愛さんが全国放送のバラエティ番組に出演したことがきっかけで「日本一朝早く会えるアイドル」として知名度が上がったほか、来年早々にも楽曲提供を受け、今後の活躍が期待されることなどから、朝市会が任命した。朝市会が個人や団体を公認したのは初めてとなる。</p>
<p>(1 5)</p>	<p>八戸学院図書館職員と学生が絵本共同制作 ～「ありがとう」で心温かく～</p> <p>八戸学院図書館は、図書館の利用促進と読者が温かな気持ちになることを願って、オリジナルの絵本「ありがとう」を制作した。文は同館事務室長の織戸浩さん、絵は健康医療学部4年の大島璃来さんが担当。過去に絵本制作の経験があった同館学生アルバイトの大島さんが、伝わりやすさを意識して登場人物を動物にして描き、10月に完成させた。内容は、猫の男の子が相手のために行動して「ありがとう」を積み重ねていく話。読むと思わず「ありがとう」と伝えたいくなる、かわいらしい絵本が本棚に並べられ、来館者を和ませている。絵本は非売品で、同館で閲覧できる。</p>

(16)	<p>～冬の夜空に贈り物～ 蕪島周辺で「光柱現象」観測</p> <p>11月27日午後8時ごろ、八戸市の蕪島周辺などで、夜空に光の筋が見える「光柱現象」が観測された。八戸近海の漁船のいさり火が、上空に映し出される珍しい現象で、同市白銀の岸壁で夜釣りをしていた同市大久保の後藤智幸さんが光の筋に気づき、撮影に成功した。青森地方気象台によると、光柱現象は上空の雲の中で氷の粒に、地上の光が反射することで起こる。冬場などに薄い雲がかかると、まれに見られ、気象条件が発生を左右するという。</p>
------	--

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p>巨人坂本勇人内野手 2000安打の偉業達成</p> <p>八戸市の光星高（現八学光星高）から、2006年のプロ野球ドラフト会議で巨人に1位指名され入団した坂本勇人内野手が、11月8日に東京ドームで行われたヤクルト最終戦で、史上53人目の通算2千安打を達成した。プロ14年目、1783試合目での到達。31歳10カ月での達成は榎本喜八（東京＝現ロッテ）の31歳7カ月に次ぐプロ野球史上2番目の若さで、青森県内高校出身のプロ選手初となる偉業達成となった。</p>
(18)	<p>「八戸工場大学」本年度で終了 活動8年目 一区切り</p> <p>八戸市臨海部の工業地帯を地域資源として捉え、アート、文化などの視点から魅力を発信してきた市の取り組み「八戸工場大学」が、一定の役割を果たしたとして、本年度で終了することになった。2013年に開講し、通年参加型の講義は年6回、毎回50人近くの幅広い年齢層の受講生が集まり、景観工学を研究する大学教授や工場関係者を講師に、工業地帯の歴史や文化的背景などを学んだ。また、工場施設内見学会などの課外活動もあり、さまざまな角度から工場に親しんだ。2021年度以降については、八戸市新美術館を舞台とした新たな活動が検討されている。</p>